

脱炭素時代のまちづくりと、その中での都市ガス事業の果たす役割を解説!

冊子「分散型エネルギーが創り出す 2050年の未来」発行



菅義偉総理大臣は、所信表明演説で、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言しました。全国の自治体でも〈ゼロカーボンシティ〉宣言するところが増えています。しかし、少子高齢化や激甚化する自然災害、コロナ禍など、多くの課題を抱える中、脱炭素化と地域創生を両立するのは容易ではありません。

その中で、地域密着の都市ガス事業はどのような役割を果たすことができるのか―〈分散型エネルギーシステム構築〉による電気・熱を有効利用するまちづくり、さらにはカーボンニュートラル都市ガスとして技術革新が期待される〈メタネーション〉など最新技術を解説。2050年の脱炭素化と、まちづくりにおける都市ガス事業の果たす役割を浮き彫りにします。

自治体の地方創生やまちづくり、脱炭素化のご担当者さまはもちろん、地域の大学や研究機関、有識者、金融機関等への説明資料として、本冊子をぜひご活用ください。

【掲載内容】

- 持続可能で地域の特性を活かした未来のまちへ
- 再生可能エネの普及拡大へ向けた日本の抱える課題
- 脱炭素社会に向けた日本のエネルギー政策の方向性
- 分散型エネルギーとカーボンニュートラル都市ガス
- 地域特性を活かした分散型エネルギーの構築
- 分散型エネルギーシステムを活用した先導的事例
- 都市ガスインフラとメタネーション技術が
地域の分散型エネルギーシステムを脱炭素化

【体裁等】

- ・ A4判
- ・ 12ページ
- ・ オールカラー

日本ガス協会発行

発行：日本ガス協会
斡旋販売：ガスエネルギー新聞

ご提供価格：1部 200円（税別）※50部単位でご注文ください

【送料 | か所/税別】200部まで：本州1,000円、北海道・四国・九州・沖縄1,100円

201部から：全国1,500円 ※1,000部以上で全国送料無料

申込

ガスエネルギー新聞 HP → 「書籍冊子」から簡単入力

見本誌
お送りできます
お気軽に



2020年 12月 21日号

バックナンバー▶ 12月14日号 12月7日号 11月30日号 11月23日号

主要記事

「ガスの役割」を整理、強み生かし脱炭素に貢献/在り方研

資源エネルギー庁は16日、「2050年に向けたガス事業の在り方研究会」の第4回会合を開いた。日本ガス協会は菅義偉首相の「50年温室効果ガス実質ゼロ（カーボンニュートラル=CN）」宣言を受けて11月に発表した都市ガスのCN化宣言の詳細を発表。エネ庁は論点整理となる脱炭素社会における「ガスの役割」などを示し議論を深めた。高温の産業用熱をはじめガスの強みを生かした当面の低炭素化や、水素社会の担い手として役割を果たす方向が委員から支持された。【1面】

ガスエネルギー新聞からのお知らせ

NEW 分散型エネルギーが創り出す2050年の未来
NEW 「コロナに負けるな ガスで快適・健康生活」
NEW 都市ガス業界の年鑑「21 CITY GAS」発行
社員教育にも最適「天然ガス特集」発行
「ステイホーム」を元気にするレシピ集発行！
〈コロナに負けるな〉ロゴを無償でご提供

両毛システムズRSセミナー記事【全文掲載】

【お問い合わせ】ガスエネルギー新聞 営業企画部 担当：八重垣（やえがき）
yaegaki@gas-enenews.co.jp (社用)080-8161-4758